

Windows NT v4.0 用の Cisco Aironet Client Adapter インストールヒント

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[どの割り込みが使用されるか判別して下さい](#)

[ドライバのインストール](#)

[関連情報](#)

概要

[Cisco Aironet Client Adapter Installation Wizard for Windows は、Aironet Client Utility \(ACU \) および関連ドライバのインストールを自動化し、システム リソースを調整して、ハードウェアが Windows と適切にやり取りできるようにします。](#) このウィザードを使用しない従来のインストールの場合、代替りとなるインストール方法を使用する必要があります。Windows NT のプラットフォームで Cisco Aironet クライアント アダプタ カードをインストールする手順は、他の Windows プラットフォーム上でのインストール プロセスとは異なります。このドキュメントでは、クライアント アダプタ カードで使用される IRQ および I/O ポート番号を設定する方法について説明します。

前提条件

要件

読者は Windows GUI およびコントロール パネルについて詳しく知っているはずで

使用するコンポーネント

この資料は Windows NT バージョン 4.0 を実行するあらゆるプラットフォームに適当です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

どの割り込みが使用されるか判別して下さい

Windows NT v4.0 がプラグアンドプレイをサポートしないので、利用可能な IRQ および I/Oポート数を判別して下さい。これを Windows NT であるために、これらのステップを使用して下さい：

1. 行って下さい **Start->Programs->Administrative ツールに—>NT 診断**：
2. Windows NT Diagnostics ウィンドウで、**Resource タブ**をクリックして下さい。ディスプレイの下部のでボタンが付いている IRQ および I/Oポート数を検査できます。注：これらは数その Windows NT レポートです；それらはレジストリで設定されません。

ドライバのインストール

どの IRQ および I/Oポート数が既に使用中であるか知っていれば、Cisco Aironet クライアントアダプタカードと使用される利用可能な IRQ および I/Oポート数を選択できます。たとえば、示されているディスプレイのために IRQ 10 および I/Oポート 100 を使用できます。

まだそう終了していない場合、Cisco Aironet ソフトウェアを Wireless ページ Cisco Software Center からダウンロードするかまたは Windows ドライバ及びユーティリティーページに直接行って下さい。ドライバ 自己解凍型アーカイブをダウンロードしたら、フロッピーディスクまたはハードドライブのフォルダにそれを得て下さい。

注：ドライバをインストールするとき、Windows NT はファイルのために参照するためにプロンプト表示しません。ファイルの位置にフルパスを打ち込んで下さい。従って、フロッピーディスクのファイルがなければ、c:\temp のような記憶しやすい位置にダウンロードされたファイルを、抽出することが最善です。

ドライバをインストールするためにこれらのステップを完了して下さい：

1. 『Start』を選択して下さい。
2. 選択した設定。
3. 『Control Panel』を選択して下さい。
4. **ネットワーク特性**を選択して下さい。
5. **Adapter タブ**をクリックして下さい。
6. [Add] をクリックします。
7. 適切なネットワークアダプタを選択するか、またはディスクからドライバを選択するためにプロンプト表示されます。[Have Disk] をクリックします。
8. ファイルの位置にパスを打ち込んで下さい。
9. **Select OEM オプション box** では現われる、クライアントカードと一致するアダプタを選択して下さい。
10. [OK] をクリックします。
11. **Adapter Setup** ウィンドウで、**Value ダイアログボックス**のコンピュータの固有のクライアントネームを『Client Name』を選択し、タイプして下さい。
12. 『SSID』を選択して下さい。**Value ダイアログボックス**では、システムアドミニストレータから得ることができる RF ネットワークの大文字/小文字の区別がある SSID を入力して下さい。

13. 以前にである利用可能判別した値を『Interrupt』を選択し、選択して下さい。
14. 以前にである利用可能判別した値を『IO Base Address (hexadecimal)』を選択し、選択して下さい。
15. 『OK』をクリックし、閉じて下さい。
16. Microsoft TCP/IP Properties ウィンドウは開きます。それが開かない場合、に行って下さいMy Computer > コントロール パネル—>Network —>Protocols —>TCP/IP —>Properties。
17. これらの1つを行って下さい:コンピュータが DHCPサーバから IP アドレスを得たら—『Obtain an IP address from a DHCP server』を選択して下さい。DHCP を有効にしたいと思い、『Yes』をクリックし、承諾するかどうか尋ねられた場合。コンピュータが DHCPサーバから IP アドレスを得なかったら—システム アドミニストレータから得ることができるこの情報を『Specify an IP address』を選択し、入力して下さい:IP アドレスサブネット マスクコンピュータのデフォルトゲートウェイアドレス[OK] をクリックします。
18. コンピュータを再起動するためにプロンプト表示された場合 CD かフロッピーディスクを取り出し、『Yes』をクリックして下さい。ドライバのインストールはこれで終了しました。

関連情報

- [Cisco Aironet 350 シリーズ テクニカル ノート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)